



温故会
直方中村病院

泰らぎ



vol.31
2014年新年号



新年明けまして
おめでとうございます。

- ◇・・・・表紙、目次
- ◇・・・・新年の御挨拶（中村理事長）
私から見た直方中村病院vol1②～2階売店（シダックスさん）～
- ◇・・・・第59回九州精神医療学会
委員会リレー（広報委員会）
病院食人気メニュー
- ◇・・・・漢方について
地域情報（直方夢風楽さんのひょっとこ踊り）
クイズ



新年の御挨拶～中村理事長～



新年のご挨拶を申し上げます。年が明けて心新たに、温故会としての将来のあるべき姿に向かって舵を取る年にしたいと思います。

急速な高齢社会の進展は、いよいよ首都圏など都市部にも広がり、要介護や認知症の高齢者の数は益々増加していくことになるでしょう。こうしたなかで医療と介護の両方のサービスを提供でき、

作業療法士・理学療法士等リハビリテーション専門職などの多職種を揃え、チームケアで対応できる温故会の果たすべき役割は大きく、まさに地域連携の拠点になり得ると確信しています。医療法人社団温故会は直方中村病院、グループホーム合歓の木、高齢者専用住宅泰山木、介護老人保健施設すこやかで

地域ケアの拠点として地域住民皆様のニーズに対応して新しい時代の要請に応えるために、理念を改めて確認し原点にもう一度立ち返り、歩みを進めていこうと思います。

皆様におかれましても、今年が輝かしい躍進の一步となりますよう祈念して、新年の挨拶と致します。

私から見た直方中村病院～vol.2～

月日の経つのは早いもので、私達が直方中村病院の売店としてお世話になる様になって、丸8年が過ぎました。何事につけても初めての経験で、不安と戸惑いばかりの中、職員の方々の暖かいご指導を受けながら、今では患者様方に「口うるさい」と言われる程、体調

などへの気づきもできる様になって私達なりに、成長してきているのではないかと考えています。売店があって良かったと思って頂ける様に、今後も頑張っていきたいと思っています。

シダックススタッフより



第59回九州精神医療学会

平成25年11月7日、8日と鹿児島県民交流センターにて開催された第59回九州精神医療学会(旧九州精神保健学会)に、今年も参加してきました。当院からは、「BACS-J」における治療的有効性」「認知症治療病棟における運動療法」「アルコール関連問題に対する当院の取り組み」と3つのテーマを発表。学会への参加は、当院で1年を締めくくる上での恒例行事になっており、院内での取り組みを、多くの方に知って頂く事ができる大切な機会だと考えています。

学会では、今年も九州各地から、様々な医療機関が参加し、症例報告や事例報告など、多彩な発表が行われていました。共催セミナーを始め、各医療機関からの発表においても、興味深い内容が数多く聞かれ、当院にとっても学びを深め、刺激を受ける大変良い機会となりました。

日進月歩の精神科医療の中で、今後も患者様・ご家族に対し、より質の高い医療を提供し、地域に密着した医療機関を目指すことを

目標に、日々努力していきたいと思っています。

精神保健福祉士 吉永



参加メンバー



発表会場

委員会リレー(広報委員会)

今回から、当院の委員会活動をリレー形式で紹介していきたいと思えます。第1回目は広報委員会を紹介いたします。メンバーは事務2名、ソーシャルワーカー1名、看護師4名、作業療法士2名、心理士1名の計10名で構成されています。直方中村病院における、病院の理念、活動及びサービス、精神疾患、地域の情報、その他、健康に関する情報を提供することを目的としています。主な活動は、広報誌の作成とブログの更新です。

広報誌は3ヶ月に1回、年4回発刊しています。入院患者様のご家族、外来待合室、直方市や宮若市、小竹町等の役所、地域の関係機関、心療内科等のクリニックに配布しています。ブログは最低、月4回更新することを目標にして、それぞれスタッフ間で役割分担して、更新しています。直方中村病院のホームページ内から見る事ができます。どうぞご覧下さい。日頃、当院がどのような取り組みを行っているのかなど、知っていただけたら良い機会だと思っています。

また、精神疾患等で苦しんでいる方が、この広報誌を見て当院を受診されるきっかけになり、苦しみから解放されるようであれば、なお幸いです。これからも、宜しくお願い致します。

看護師 橋本



病院食人気メニュー

当院では、患者様よりお食事についてのご意見をお聞きしたり、アンケートを実施しております。今回は、数あるメニューの中から、患者様に人気のあるメニューベスト3をご紹介します！



○カレー

根強い人気から、カレーの頻度が増えているそうです！



○ぜんざい

食後は甘いものがほしくなりますね♪



○麺類(焼きそば・ラーメンなど...)

毎週水曜は季節に合わせた麺類の日です☆
(写真はちゃんぽん)



その他にも親子丼、ちらし寿司、パン(土曜日)が人気が高いそうです！
毎日おいしいお食事をいただけるのは、嬉しいですね(^ ^)

漢方について



漢方とは中国から伝来した医学が、わが国の気候・風土・体質に合わせて独自に発展した日本の伝統医学です。用いられる薬物は基本的に植物(草根木皮)で、一部動物・鉱物もありますが、天然物一即ち多成分で、さらにそれを複数組み合わせ合わせて一つの処方とします。この点が、多くは合成された単成分の西洋薬とは異なります。また、この処方に当たっては、その人の体質とそのときの状態を重視し、それを『証』といいます。例えば、同じ感冒症状であっても、ある人には葛根湯、またこのほかの人には麻黄附子細辛湯を使ったりします。これを同病異治と云います。

また、体内の水分分布を調整する作用のある五苓散は、頭痛・めまい・下痢・浮腫など種々の症状に用いられます。これを異病同治と云います。漢方薬は永く飲まないと思効かないと思っている人もいますが、麻黄湯・小青竜湯・芍薬甘草湯など即効性の処方もあります。西洋薬では対応しにくい『冷え』、体質改善、女性の性周期に関連した不定愁訴などに有効な漢方薬ですが、近年では悪性腫瘍などの化学療法時に食思改善・免疫力増強のため使用される補中益気湯、消化器手術後のイレウス予防に使われる大建中湯も有効性が認められています。

ただし、漢方薬に対して苦手意識の強い方に無理強いしてはいけませんし、副作用についても西洋薬よりは少ないですが、時にアレルギー・間質性肺炎・偽アルドステロン症(低カリウム血症、浮腫、血圧上昇)などが起こることがあるので、副反応に留意しながら使用することが大切です。治療手段は多いほうが良いという意味では、西洋医学と長い歴史ある東洋医学を上手に組み合わせることで患者さんの症状改善とQOL向上が図れるのではないのでしょうか。

精神保健指定医 藤原医師



ひょっこ踊りがやって来た！

10月11日行事で外部慰問がありました。去年はマンドリンの演奏に来ていただきましたが今年は「直方夢風楽」の皆さんに来ていただきました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、日向ひょっこ踊りでお祝い事のイベントや老人ホームなどをボランティアで回っていらっしゃいます。また、この他では年に2回日向で行われる講習会とひょっこ踊りに参加されているとのこと。

代表の阿部恵子さんは2年前にこの夢風楽を立ち上げ、現在の会員は16名で年齢は2歳から65歳まで、職業は会社員、船員、主婦と様々だということです。

開催当日は、ひょっこ踊りを一目みようと多くの患者様が参加されました。ひょっこのお面の様々な表情に笑いが起こったり、子どもたちが一生懸命踊る姿に微笑ましい表情を浮かべる患者様も多くいらっしゃいました。男性スタッフもひょっこ踊りに挑戦したのですが、お面を着けることで息苦しく動きもハードだということ、かなりの体力を要することを身をもって体験できたと感想を述べていました。衣装もすべて手作りで中には鯉のぼりをリメイクした粋な衣装もありました！最後は患者様も参加型の炭坑節を踊り、幕を閉じました。代表の阿部さんはとても気さくな方

で、「患者様に楽しんでもらいたい」と事前の打ち合わせでも演出についてとても熱心に考えてくださっていました。素晴らしい取り組みなのでどんどん認知度が広がるといいなと思いました！！

作業療法士 辻田



クイズ

*漢字クイズ

なんと読むでしょう♪

- | | | | | |
|------|------|-------|------|------|
| ① 東雲 | ② 若布 | ③ 双六 | ④ 独楽 | ⑤ 布袋 |
| ⑥ 氷柱 | ⑦ 刷毛 | ⑧ 手水場 | ⑨ 雪洞 | ⑩ 薬缶 |

*アルファベットクイズ

S M T □ T F S □には何がはいるでしょう♪

ヒント！



クイズの答え:①しのめ ②わかめ ③すごろく ④こま ⑤ほてい
⑥つらら ⑦はけ ⑧ちょうずば ⑨ぼんぼり ⑩やかん
アルファベット⇒W(曜日を英語にしてみてください)

発行所

医療法人社団温故会 直方中村病院
〒822-0002 直方市頓野993-1
TEL 0949-26-1522
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>

編集後記

また、新しい1年が始まりました。去年は、暗いニュースがある中、「富士山の世界文化遺産登録」「2020年東京オリンピックの開催決定」「楽天の日本一」など気持ちが明るくなるようなニュースもありました。4月からは、消費税率の引き上げなど、私達の財布にとって優しくないこともあります。1日でも早い春の訪れを信じ、今年も1年、乗り切って行きたいものです。(広報・吉永)